

主題：「寄付講座で行った東日本大地震に関する調査報告（速報）」 — 地震・津波の後に発生した災禍（火災・帰宅困難等） —



主催： 東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻 消防防災科学技術寄付講座
会場： 東京大学 山上会館大会議室
日時： 平成 23 年5月9日(月)
13:30～17:00 (13:15 開場)



● 趣旨

2011年3月11日の東日本大震災では、地震そのものの破壊力のみならず、その後引き起こされた津波を中心に未曾有の大災害が発生し、多くの方々の命が失われました。まずもって犠牲者の方々のご冥福と、被災された方々に心からのお見舞いを申し上げます。

地震発生後、当消防防災科学技術寄付講座でも、この大震災を教訓に今後の被害防止につながる何らかの貢献ができないかと考えておりました。発生直後は事態の大きさに、何から手をつけて良いか判らない状態ではありましたが、他の研究組織に比べて少人数でネットワークが良い事もあり、まずは各々の専門を活かし、できる所からと調査活動を始めました。

その一つとして、救助や探索の緊急対応が一段落してきた3月27日～30日、また4月7日～10日の2回、三陸沿岸・仙台近郊での火災現場調査を他大学・研究機関と連携して行いました。火災は津波や原子力災害の報道の陰に隠れてしまいましたが、阪神淡路大地震時と同規模の市街地火災が発生していました。火災現場では急ピッチで瓦礫撤去が進んでおり、毀損が少ない内にできるだけ情報を収集し、今後、学会や多くの研究機関で実施される本格的な研究への橋渡しができればとの思いで実施したものです。

また一方、首都圏では地震直後に発生した帰宅困難や通常と異なった買い物行動、計画停電が発生し、非常に多くの人々が混乱し不安に陥る事態が発生してしまいました。このような都市域での地震後の脆弱性は従前より指摘されながら、対策については必ずしも進んでいない、また理解されていないことが露呈される結果となりました。こうした課題の調査は、対象者があまりにも広範囲で多数に及ぶため意味のある調査が可能なのかとの疑問もありましたが、(株)サーベイリサーチセンターの協力を得て、また本課題に興味がある研究者との連携のもと、何とか概要調査を行うことができました。

今後、寄付講座で行った調査内容は、学会や研究機関の研究者との議論を行い、将来活用できるような形で集約していきたいと思っておりますが、取り急ぎ、消防防災科学技術に興味のある方々に本寄付講座で行った上記二つの調査内容を速報という形でご報告させていただきたく、本緊急公開セミナーを企画いたしました。

皆様のご参加をお待ちしています。

● 講演内容

全体司会：廣井 悠(東京大学)

13:30-13:40 開会挨拶および主題解説 山田常圭(東京大学)

[Part-1 地震・津波火災発生状況]

13:40-14:20 (1) 「東日本大地震における火災の発生状況と特徴」 山田常圭(東京大学)

14:20-15:00 (2) 「各地域における火災の現場状況」 坂本憲昭(東京大学)

休憩(10分)

[Part-2 首都圏における帰宅困難者・買い物行動等]

15:10-15:50 (3) 「帰宅困難者に関するアンケート調査」 廣井 悠(東京大学)

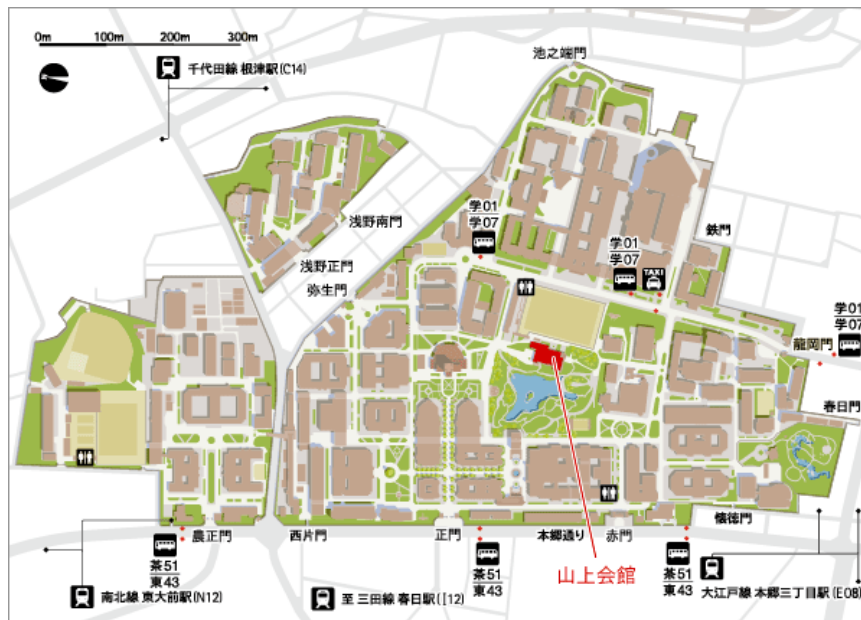
15:50-16:30 (4) 「買い物行動、計画停電に関するアンケート調査」 関谷直也(東洋大学)

16:30-17:00 質疑・応答 閉会の挨拶 山田常圭(東京大学)

● 参加方法

- ・ 参加費用:無料
- ・ 定員:先着 100名(事前登録者優先)
- ・ 事前登録:今回は、多くの方の参加が予想されます。会場の席や資料の準備の都合もありますので、下記に、参加氏名、所属、連絡先を頂きたいをお願いします。事前登録のない方は、状況によっては入場をお断りすることがありますのでご了承下さい。

● 地図 :



http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

【本件に関する問い合わせ先】

東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻
消防防災科学技術寄付講座 (担当者 廣井・坂本)
TEL:03-5841-7255, FAX:03-5841-7327
E-mail: shobo@fse.t.u-tokyo.ac.jp